

内出道満の太刀

所有者 宮城県加美郡加美町字赤塚 鹿島神社

指定 加美町指定有形文化財 昭和 53 年 3 月 31 日

概要

天正 16 年（1588）2 月の大崎合戦で奮戦討死した大崎家臣下新田城主葛岡監物配下の武将内出道満の太刀と伝えられています。刀身のみで長さ 2 尺 5 寸 9 分で、鐔・柄、鞘は現存しません。宮城県教育委員会刀剣登録審査の結果、無銘ですが来国俊の門人加賀国住人藤島派 5 代友重の作と鑑定されました。

道満の後裔の方が保有していましたが、昭和 37 年 6 月に鹿島神社へ奉納されました。

